

米軍関係者の沖縄女性殺害を許さない！すべての米軍基地の撤去を要求する！

社会

「人殺し基地は沖縄から出て行け」 嘉手納基地に250人、憤り頂点

2016年5月20日 13:47



緊急抗議集会に次々と結集、嘉手納基地に向かって怒りをぶつける市民ら＝20日午後0時20分、北谷町の嘉手納基地第1ゲート前

米軍属による女性死体遺棄事件を受け、嘉手納爆音訴訟団と中部地区労働組合協議会は20日正午から、北谷町砂辺の嘉手納基地第1ゲート前で抗議集会を開いた。約250人が結集、憤りが頂点に達した。

「人殺し基地は沖縄から出て行け」。基地のフェンス越しに拳を突き上げた。

途中で、亡くなった島袋里奈さんの冥福を祈り、全員で1分間の黙とうをささげた。

嘉手納爆音訴訟団の新川秀清団長は「多くの県民が島袋さんに元気で帰ってきてほしいと願っていたが、このような結末を迎えてしまった。戦後71年たつが、何も基地問題は解決していない」と憤った。

読谷村から参加した瑞慶覧朝彦さん(65)も「本土復帰から半世紀近くがたつのに、まだこんな事件が起きることに強い憤りを感じる」と話し、「(身体的に)弱者の女性が犠牲になるというのは、とても言葉にできない」と声を詰まらせた。

【琉球新報電子版】

翁長知事どう動く？「政府は当事者能力がない」

2016年5月20日 12:00 琉球新報

米国出張から帰国し、米軍属女性死体遺棄事件の発生について憤る翁長雄志知事＝19日夜、成田空港

米軍属による女性死体遺棄事件を受け、県は20日、関係機関への抗議・要請に向け県内部で検討する。県幹部によると、翁長雄志知事が上京して外務省や防衛省、在日米大使館などに抗議することも含めて調整する。



翁長知事は19日、成田空港で記者団の質疑に答える際、3月に那覇市内で米兵による女性暴行事件が起きたことを挙げ「四軍調整官と総領事が県庁におわびに来ていたが、あれから数カ月たち、何ら改善されない中で今日を迎えている」と憤りの色を隠さなかった。

県庁内からも県民の安全への懸念を示す声上がる。「こういう事件が起きると、県民は夜の道を歩けないということになる。県内レベルの抗議では済まない」と指摘した。

県によると、翁長知事は23日に東京で沖縄振興審議会に参加し、24日に安倍晋三首相にかりゆしウエアを贈呈する予定となっている。知事上京時に抗議・要請するか、20日に詳細を詰める。

<知事 一問一答>

翁長雄志知事と記者とのやりとりは次の通り。

—うるま市の事件で米軍属の男が逮捕された。

「訪米前から20歳の女性が行方不明になっていると大変心配をしていた。本当に人生に夢と希望を持ちながら、胸を弾ませながらいたことを考えると、亡くなられた報に接し大変残念、無念だ」

「この70年間、基地のある市町村長は訴えているが、政府は当事者能力がなくただ米軍に伝えるだけで今日まで来ている。本当に憤まんやる方ない形で抗議しているが、今日まで残念ながら聞く耳を持たなかった。今回

も多くの関係者が抗議するが、今のままではいけないということにつなげていかなければならない」

「若者の尊い命を奪う事件は実に痛ましく、本人や家族の無念さを思うと心が痛い。県民全体がそう思っている。知事としては不退転の決意で、まずは普天間基地の問題、米軍全体の問題も、多く国民に理解を得ながらしっかりと対応していきたい」

—ことし3月も那覇市で女性暴行事件があった。政府への考えは。

「日米安保は私も理解しているが、同じ国民の一員である沖縄に73・8%の米軍施設を置いておきながら、私との会話でも十二分な説明ができない状況。安全保障の中で過重な負担の中で苦しんでいる国民に対応するよなものがないとつじつまが合わないということを強く申し上げたい」

—県としての対応は。

「今まで通りやっても改善されていないのが現状。私は昨夏にも中谷大臣にも、せめて防衛局から各市町村に説明に行くべきでないか（と求めた）。街づくりの責任を片隅に置いて抗議している。全体的な改善はない。段階を上げてやる方向性を考えて（抗議しなければならない）」

—（総統就任式の）台湾訪問日程に変更は。

「公式日程なのでここ（東京）から直接飛ぶ。数時間ですぐに沖縄に戻る。その間副知事をはじめ担当者と連絡を取ってしっかり調整したい」

「県民の安全、犠牲でいいのか」 安慶田副知事、全権大使らに強く抗議

2016年5月20日 11:50



米軍属女性死体遺棄事件を受け、安慶田光男副知事（右）に謝罪する水上正史外務省特命全権大使（中央）と井上一徳沖縄防衛局長 = 20日午前10時半すぎ、県庁

米軍属女性死体遺棄事件を受け、水上正史外務省特命全権大使と井上一徳沖縄防衛局長は20日午前、県庁に安慶田光男副知事を訪ね「われわれなりに努力してきたつもりだが、大変な惨事に至

った。おわび申し上げる」と謝罪した。安慶田副知事は「日本の安全を守るために、県民の自由と安全は犠牲にされていいのか。とんでもない話だ」と強く抗議した。

面談後、安慶田副知事は30日に予定されていたという政府・沖縄県協議会が政府側からの申し入れにより、延期になったことを明らかにした。

水上大使と井上局長に対し、安慶田副知事は「日常生活で安全、安心にウォーキングもできない。こういうことが沖縄の現実であることを分かってもらい、政府は問題を解決してもらいたい。これまで通り『綱紀粛正をやっていく』では同じことの繰り返しになる」とし、米軍がこれまで事件のたびに掲げてきた綱紀粛正以外の再発防止策を要求するよう強調した。面談は約9分で、安慶田副知事から打ち切った。

【琉球新報電子版】

「事件は全て私の責任」 四軍調整官、県に謝罪 地位協定適用認める

2016年5月20日 16:19



安慶田光男副知事（右）に頭を下げるローレンス・ニコルソン四軍調整官（中央）とジョエル・エレンライク在沖米総領事（左）＝20日午後3時すぎ、県庁6階

米軍属による女性死体遺棄事件を受け、ローレンス・ニコルソン在沖米四軍調整官とジョエル・エレンライク在沖米総領事らが20日午後3時、県庁に安慶田光男副知事を訪ね、事件について謝罪した。

ニコルソン氏は「米国を代表し、遺憾の意を伝え、被害者のご冥福を祈る。県警の捜査に全面的に協力している」と謝罪した。その上でシンザト・ケネス・フランクリン容疑者について「米軍や

米政府が雇用しているわけではないが、日米地位協定が適用される人物だ。事件は全て私の責任だ」と述べた。

安慶田副知事は「被害者は20歳のはつらつとした時期に事件に巻き込まれた。家族の心情を考えると居たたまれない。許されるものではない」と強く批判した。その上で「このような非人間的な事件が発生したことは、沖縄が基地と隣り合わせの生活をしないといけないことが大きな原因だ。被疑者が軍人であれ軍属であれ民間人であれ、事件は基地があるゆえに発生した。米軍施設が沖縄にあまりに集中している」と沖縄の過重な基地負担を指摘した。【琉球新報電子版】

復帰後 574 件 沖縄米軍人・軍属凶悪犯罪

2016年5月20日 12:26 琉球新報

県警によると、米軍構成員（軍人、軍属、家族）による県内での凶悪犯罪は日本復帰後、2013年以外、毎年発生している。県警の犯罪統計書や発表資料によると、米軍構成員による凶悪犯罪は1972年5月15日から2015年末までの間に574件発生し、741人が摘発された。

内訳は殺人が26件34人、強盗が394件548人、放火が25件12人、強姦（ごうかん）が129件147人だった。最も凶悪犯罪が多かったのは1977年で、69件発生し、69人が摘発されている。

95年の3米兵による少女乱暴事件後も凶悪事件は後を絶たず、2001年6月に嘉手納基地所属の軍曹による女性暴行事件などが発生。今年に入ってから、3月にキャンプ・シュワブ所属の1等水兵が準強姦容疑で逮捕、起訴されている。

復帰前の公式な統計は明らかになっていないが、11年に公開された外務省文書によると、1964～68年の5年間の米軍人・軍属による犯罪発生件数は5367件で、そのうち凶悪犯罪は504件だった。

過去の主な米軍人・軍属による凶悪事件 (市町村名は当時)

| | |
|---------|--|
| 1955.9 | 嘉手納基地高射砲隊所属の米兵が石川市で幼女を拉致し暴行、殺害 |
| 1963.2 | 演習帰りの米軍トラックが那覇市内で信号無視し、横断歩道の中学生をはねて死亡させる |
| 1963.7 | 美里村で那覇航空隊所属の上等兵が飲食店従業員の女性を鈍器で撲殺 |
| 1966.7 | 金武村で勤め先の飲食店から帰宅途中の女性を脱走米兵が暴行し殺害 |
| 1967.7 | 米兵が浦添村でタクシー運転手を刺殺 |
| 1970.9 | 糸満町で飲酒運転の米兵が主婦をひき殺す |
| 1972.9 | キャンプ・ハンセンで米兵が基地従業員を射殺 |
| 1973.3 | コザ市で女性が絞殺される。容疑者の米兵は帰国し逃亡 |
| 1982.3 | 金武町内で海兵隊員が男性をブロックで殴殺 |
| 1982.8 | 名護市で海兵隊員が女性を殺害 |
| 1983.2 | 米兵2人がキャンプ・ハンセン内でタクシー運転手を刺殺 |
| 1985.1 | 金武町で就寝中の男性を物取り目的の海兵隊員が刺殺 |
| 1991.6 | 沖縄市で海兵隊員が男性殺害 |
| 1991.6 | 沖縄市で海兵隊員がインド人男性を殺害 |
| 1993.4 | 金武町の繁華街で、海兵隊員が男性を殺害 |
| 1993.7 | 女性に乱暴し、基地内に拘束されていた米兵が脱走、本国に逃亡したことが判明 |
| 1995.5 | 宜野湾市のアパートで海兵隊員が女性を殺害 |
| 1995.9 | 本島北部で3米兵による少女乱暴事件が発生 |
| 2001.6 | 北谷町で嘉手納基地の軍曹が女性を暴行 |
| 2003.5 | 海兵隊上等兵が女性を殴り暴行 |
| 2005.7 | 嘉手納基地の2等軍曹が女兒にわいせつ |
| 2008.2 | 海兵隊員が女子中学生を暴行 |
| 2009.11 | 読谷村で米陸軍兵が男性をひき逃げ。男性は死亡した |
| 2012.8 | 海兵隊伍長が那覇市で女性にわいせつ行為をし、けがを負わす |
| 2012.10 | 海軍兵2人が帰宅途中の女性に暴行 |
| 2016.3 | 観光客の女性に対する準強姦容疑で海軍1等兵を逮捕 |